

榛原中学校だより

4月号

令和5年4月17日(月)

(<http://www.haibara-jh.ed.city.uda.nara.jp/index.html>)

学校目標
『一人一人が活躍でき誇れる榛原中』
～目標を持ち主体的に生きる生徒の育成～

(文責：校長 垣内 宏志)

新たな春がやってきました

今年の桜の開花は例年より少し早く、そのあとから芽吹く若葉の新緑が目まぶしい季節となりました。

4月10日(月)に行った第77回入学式で95名の新生を迎え、全校生徒311名で令和5年度の榛原中学校がスタートしました。教職員一同、全力でお子様の成長をサポートしてまいりますので、保護者の皆さまのご支援、ご協力のもと、よろしくお願いいたします。

昨年までの3年間は、新型コロナウイルスという目に見えない存在に脅かされ、何かと我慢しなければいけない生活を強いられてきました。これから少しずつ、元の自由な生活を取り戻すことができるようになることを願っています。しかし、そのためには、今後も手洗いや換気、咳エチケットなど自分で自分の体を守るために必要なことは忘れずに習慣付けてほしいものです。

また、コロナ禍を通して、私たちは大切なことを学びました。それは、コロナのように予想できない課題に直面したとき、必要な情報を正確に読み取り、周りの人と話し合い、自分とは異なるさまざまな考え方も尊重した上で、みんなとよく生きるためにはどうすればよいか判断し、行動するということです。このことに関連して、始業式で次のような話をしました。

自分で考え、行動できる中学生に

AI(人工知能)がここ数年で、ものすごいスピードで進化しています。先日、回転ずしを食べに行った時のことです。店員さんと全く会話をしなくても、食べたいお寿司はベルトに乗って席まで運ばれてくるし、会計も自動で済ませることができました。今は、ロボットが家の掃除をし、スマホ一つあれば買い物ができる時代です。このように、今までは人間がしていた仕事をどんどんAIがとって変わっています。「今の中学生が大人になる頃には、今ある仕事の半分はAIがやってくれているだろう」と予測する人もいます。

では、皆さんが大人になったとき、AIに仕事を奪われないようにするには、どうすればいいでしょう。AIは決められた仕事を決められたとおりにするのは得意です。しかし、予定になかったことに対して臨機応変に対応するのは苦手です。例えば、小学校で触れたことのある人も多いペッパー君は、あいさつなどあらかじめプログラムされた会話は上手にで

きます。しかし、元気のない人を見つけて「どうしたの?」などといった思いやりのある声かけをするのは苦手です。

予想できない課題に直面したとき、何が一番いい方法なのかを考えて、臨機応変に行動できるのは人間だけがもつ素晴らしい能力なのです。これから皆さんは、そのような場面に何度も出くわすことがあるはずで、そのときに、誰かの指示を待つのではなく、まずは自分の頭と心で考え、他者の考え方も尊重した上で行動できる人になってほしいと思います。

明日、全国学力・学習状況調査 宇陀市学力調査が行われます

明日、4月18日(火)に3年生は全国学力・学習状況調査(国語、数学、英語)、1年生は宇陀市学力調査(国語、数学)が行われます。

この調査では、これからますます必要となってくる学力、つまり、先ほど述べたように、必要な情報を読み取り、さまざまな考え方も尊重した上で、自分なりに考えたことを定められた字数で表現する力が試されます。いつものテストより問題数は少ないものの、読み取る資料が多いため、少しとまどうかもしれませんが、最後まであきらめずに、自分の考えを書き表すことができるようがんばりましょう。



教職員の人事異動について

4月の人事異動により、下記のとおり教職員の入替わりがありました。

《転入の教職員》

- ・垣内 宏志 宇陀市教育委員会事務局より
- ・山崎 教正 新採用

《転出の教職員》

- ・ト部 佳美 桜井市立桜井中学校へ
- ・大山 敬吾 檀原市立大成中学校へ
- ・西川 典子 退職

<学校からの「情報発信・お知らせ」について>

本年度も、学校のホームページ(以下、榛中Web)やメール配信システム(宇陀市教育メール)により、学校からの連絡や情報発信を行います。メール配信に未登録のご家庭はこの機会にぜひご登録願います。

草にも木にも いいことをしよう 人にも自分にも いいことをしよう